

ゆたか作業所

ふれあいまつり

11月18日(土)

6年ぶりのおまつり企画が復活!

場所: ゆたか作業所西駐車場

時間: 10時~14時

▶ イベント内容を一足先に教えちゃうよ

お楽しみ企画満載、今回のおまつりイベントは大きく4つ!!

① 日用品リサイクルバザー

ふれあいまつり恒例のリサイクルバザー! お得な品物が満載出品予定です。

② 映画「星に語りて」無料上映

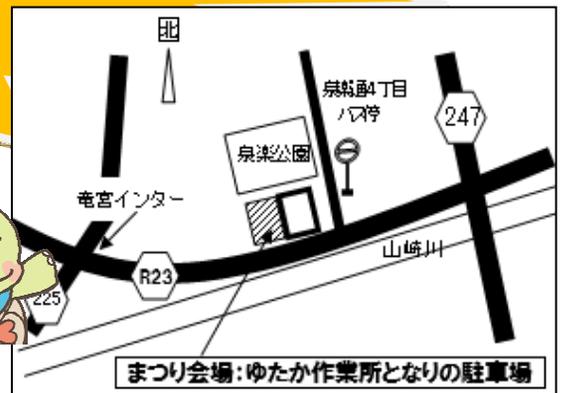
東日本大震災時の障害のある人と支援者の物語を通して安心して暮らせる地域づくりを考えます。

③ グルメ屋台(模擬店)

自慢の焼きそば、炊き込みご飯にサイドグルメも予定。今年はキッチンカーもやってくるよ!

④ 子ども広場

今年はコマ回しのおじさんがゲスト出演予定! 夜店コーナーやミニゲームを絶賛準備中!



地域の皆さん 楽しみに待っててね♡

お問い合わせ

ゆたか作業所

名古屋市南区泉楽通4-5-3

TEL 052-692-3531

FAX 052-691-3532

「星に語りて」11月18日(土) 10:30~12:30 上映予定



消えてしまった障害のある人

舞台の一つは、岩手県陸前高田市、高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一入を失って奮闘する利用者たちを女性の所長が励ましたり、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるよう一歩を踏み出そうと試みていた。また、全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めていた、そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた、多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

2011年3月11日 東日本大震災



障害のある人と支援者の物語。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハイツ」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた、被災地各地に支援センターが設置され、次々と支援物資が送られ、全国各地から支援員が集まってきた。しかし、各地の障害のある人の実情を把握する中で、彼らに立ちほだかる障壁があった。それは、個人情報保護を理由に開示されない、障害のある人の情報だった、法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち、全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していった。

苦悩する支援者

